

特産品や映像で豊橋PR

東京・浅草の商業施設へ

市がアンテナショップ出展

販売も紹介も
蜂蜜、鬼祭、
筆や手筒

豊橋市は17日、同日開業した東京・浅草の商業施設「まるごとにつぼん」のイベントスペース「おすすめふるさと」に、同市のアンテナショップを出展した。全

国17市町村が出展し、愛知県からは豊橋のみ。同市にとつて都内初のアンテナショップで、特産品販売ほか新技術を駆使した空間演出で手筒花火やのんほいパ

ーク、豊橋鬼祭など季節ごとの映像を投影し、同市の魅力を総合的に訴える。「まるごとにつぼん」は全国だけでなく、世界各国から毎年約2800万人が訪れる浅草の中心街、浅草上六区にあり、年間372万人以上の集客を想定する。

豊橋市は2017年3月まで3坪ほどのスペースを有料で借り受け、物販品は会場には共有スペースもあり、うずら、大葉など豊橋の特産品を使った料理教室や、豊橋筆作りの実演などを行うこともできる。

ほかに宮城県女川町、栃木県足利市、兵庫県洲本市、山口一市、大分県豊後大野

市などが出展する。(犬飼美智子)



ずらり並んだ市町村のブース。手前が豊橋市(開業前に写す)＝東京都墨田区浅草の「まるごとにつぼん」で